

久保島

KUBOSHIMA IWAO

いわお

巖

千思万考

町議会活動報告書

令和1年10月1日

104

発行者：久保島 巖(飯島町議会議員)
上伊那郡飯島町本郷2406番地383(豊岡)
TEL/FAX 0265(86)2717
HP：<http://www.cek.ne.jp/~kubo4ma1/>
E-mail：kubo4ma180@cek.ne.jp

保育園副食費が減に

10月より、国の施策により幼保無料化が始まる。ただ、副食費(給食)は保護者負担が残ることになった。国の副食費の目安は3000円としており、今まで町では4800円頂いていた。そこで、条例改正し3000円と定めたものだ。

今まで通り4800円相当の提供とし、不足分1800円は町で助成することになる。

この補正は12月議会になる予定。

保育料は、3歳～5歳児は無料となるが、未満児や延長保育は、保護者負担が残ることになる。

今後この点が他市町村との差別化の決め手になるかもしれない。子育て支援センターは町内外からの受け入れで、利用が増えて存在感を増している点は参考だ。

9月定例会

休日議会は閑散

9月定例会は9月6日から19日の14日間の会期開かれた。30年度決算認定・1年度補正予算・条例改正など20議案が審査され、全てが全会一致で認定・承認された。詳細は2面を参照ください。

16日(祝)に休日議会で決算・予算特別委員会を開催しました。傍聴者は10人という寂しさで、がっかり。

令和元年度一般会計補正予算(概要)

主な歳出

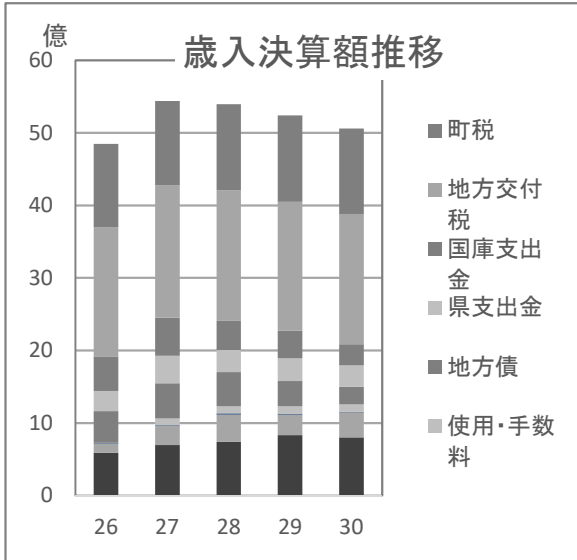
・道路補修費	3440万円
・道路舗装費	390万円
・河川改修	2340万円
・新井調査費	600万円
・水道管布設替え	550万円
・情報系パソコン	407万円
・飯小校務パソコンほか	323万円
・七小校務パソコン・雨漏り	398万円
・飯中校務パソコンほか	313万円
・トレーラーハウス撤去	258万円
・稲わら乾燥機(県補助)	241万円
・中心商店街活性化	240万円
・森林情報システム	220万円

補正財源(主な歳入)

・個人町民税	1500万円
・幼保無料化交付金	1400万円
・県補助(稲わら)	241万円
・県補助(新井)	600万円
・繰越金	1億2800万円

30年度の繰越金と国県の支出金を財源とし、例年になく積極補正といえる。

平成30年度一般会計決算 歳入



町税は3.3%増となったが、国県の支出金は千人塚拠点や学校環境・産地パワーアップ事業の減により減った。また各体育館の耐震化の完了や学校エアコンの翌年

繰越事業になったために町債が減額。

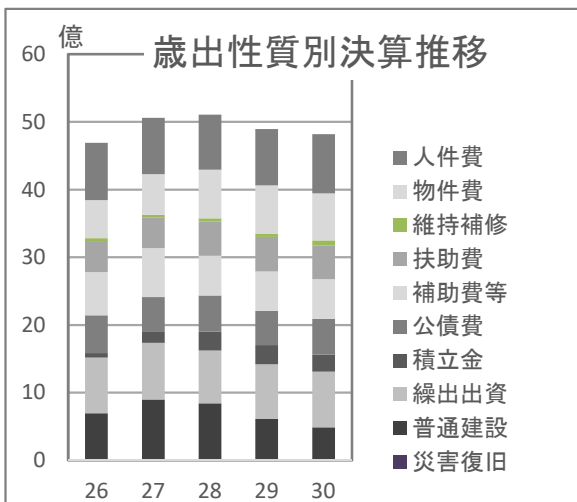
臨時財政対策債(国の赤字補填)は押さえられ、厳しい事態が続くそう。

27年をピークに歳入は減りつつある。これを自主財源(固定資産税)増に向けての企業誘致や定住促進を進めているが、大きな拡大は無理だろう。出を絞り、入りを図る方向性を続けるしかないのかと思う。

30年の実質単年度収支(積立を引いた差額)は4949万円程の赤字となっている。

年度ごとのプラスマイナスは止むを得ないが、防げる場合もある。数年前の大きな残金が尾を引いている。年度内の適正補正を積極的に行うべきだろう。

平成30年度一般会計決算 歳出



経常収支比率(運営経費)が79.0%とここ数年で一番高くなっている。財政の硬直化が進んでいる。人件費が上がりつつあるが、次年度より「会計年度任用職員制度」(嘱託・臨時職員)が1年契約の職員となる。

働き方改革の行政版だが、これにより試算で、6000万円増となる。業務の効率化を進めないと、人件費でパンクと成りかねない。ただ、現在は臨時職員の人件費分は、物件費の中に入っているため、6000万円丸々増えるわけではないが、このままではいけない。伊南行政・広域などや、民間委託など大胆な業務見直しが必至である。

公共施設の維持補修費は、今後増えることが予想される。昭和50~60年代に建設の多くの施設が40年を迎え、傷みが出る。

これらの統廃合も不可欠だ。地域エゴや便利さだけで論じては自分で自分の首を締めることになる。学校でさえ例外ではないと覚悟が必要だ。

全議員研修 in 岩手 6/25~27

飯島町議会議員全体の研修に副町長の参加を得て、岩手県紫波町・葛巻町にて視察研修を行った。任期中1度の研修で、3年目に実施するのが恒例になっている。

というのも、費用を2年間積み立てていくので、毎年実施は出来ないという事だ。

町からは2万円の補助を頂いている。

岩手県は遠いため、長野から新幹線で大宮まで出て、東北新幹線で盛岡までという強行軍で、乗り換えが多く田舎者には神経を使う旅だった。

紫波町は駅前に公共用地があり、それを活用したまちづくりを視察した。所謂、公民一帯でのまちづくりで、役場庁舎や体育館・サッカー場・医者・図書館・産直市場などが、芝生公園を挟んで、見事に配置されている。公共遊休地があったことが幸い。

葛巻町の町長は3年ほど前、下平町長とのご縁で、飯島町に来られている。

「ワインとミルクの町」を標榜し、牧場やワイン工房を町が運営している。400mトラックの中に芝生サッカー場のグラウンドを持つなど、儲かる町を形成している。

また、風力発電で町の財政は豊かであり、増設の工事の真っ最中だった。

3日目は藤原氏3代の中尊寺金色堂を拝観した。一度は見たいと思っていたので大変感動した。中尊寺の入り口には弁慶の墓があるが、義経の墓はどこにもないという。平泉人は「義経はこの地で」を強調。



中尊寺金色堂覆屋(中に金色堂)

中部伊那議員研修会 8/26

毎年持ち回りで開催の中部伊那(松川・中川・大鹿・飯島)議員研修会は、松川町中央公民館「えみりあ」で開催した。

毎年8~10項目の知事提言を採択し、要請を行っている。

本年も各町村から2項目計8項目が提案され、審議の結果全てが採択となった。

本年飯島町議会からは、久保島提案の「中部伊那地区に県立大学設置を」と浜田議員の「中部伊那をバイオマス資源活用のモデル地域に」の2つである。

「県立大学」=南信には公立がなく、特に中部伊那地域には大学がない。県が進める「学びの県づくり」のためにも、バランスよく、高等教育機関を県内に配備する事が必要というものだ。

「バイオマス」=中部伊那の町村はいずれも豊かな森林資源に恵まれており、この整備の為に、材の有効利用が必至である。よって、県は中部伊那をモデル地域にし総合施策の推進を求めるもの。

飯島の提案は常に異端的だと…(笑)

与太霧川柳

◆ 弱小は野合に燃えて炭と化す

打倒安倍一強と意味不明な野合に燃え選挙し、改憲派は2/3を割ったと勝利宣言とはこれ如何に。野で燃えれば済みとカスになり兼ねないのだが・・・

◆ もしかして菓子を持ち上げ

底をみる

関電の金貨いり菓子折りには驚愕。越後屋と悪代官でもあるまいに、江戸時代か。

頂き物の菓子折りを点検する私でした。

◆ 2桁目はずに手を置き座卓だす

中々2桁勝利がない御嶽海。9月場所の10勝目には力が入った。TV栈敷観戦中の我が家の座卓は妙義龍。はずに手を当てて、「久司」と力を合わせて押し出す。

◆ 血圧に不整脈ほか胃肝臓

高血圧は中々治らない。おまけにここ数年は不整脈の再検査。これはいかんと思っていたら、脂肪肝で要注意に。逆流性食道炎もあり、胃も肝臓もいかんぞう。

寝言一人言

・この春土俵儀のご縁で、埼玉県吉川市を訪問し、保村早稲(長尺)のモミを頂いた。それを作っていたのが飯島さんで、ご縁を感じる。保村早稲は、ワラ細工には最適。コメの味は粘りは少ないが、甘みと香りは良い。ササニシキに似た食味だ。寿司おにぎり向きという。

今後、ワラ細工と保村早稲で町おこしができるのでは考える。夢と腹は膨らむばかり・・・

米俵マラソン11月24日

第7回米俵マラソンは11月24日に決定しました。10月中旬にはエントリー締切になります。ランナー数は1000人を予定。

本年はゲストとして「柏原竜二:富士通」さんです。是非とも応援をお願いします。柏原さんの「親子ランニング教室」を開催予定です。町内の小学生親子の参加をお待ちしています。

例年お願いしていますボランティアスタッフを募集中です。全国から訪れて頂くランナーの皆様に楽しんでもらうための「お・も・て・な・し」をしたいと思います。ぜひともお手をお貸しください。

コース警備・交通警備・受付・ゴール・給仕・給水・駐車場などの係です。今回から「かんでんぱぱ仮装大賞」となり審査員を募集しております。こちらもお願いします。

2019 11/24(SUN)
第7回 飯島町 米俵マラソン大会 世界大会
米俵と良い縁起を担いで走る
GUEST RUNNER 柏原竜二
申し込み期間: 2019 8/1 (THU) ~ 10/14 (MON)
定員: 1000名

お問合せ先: 事務局 090-3349-0888
: 久保島 090-3407-8479